

別紙（中間評価書）

平成 30 年度文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

通し 番号	8	事業区分：劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業 助成対象団体名：公益財団法人静岡県舞台芸術センター 施設名：静岡県舞台芸術センター
<p>助成対象活動に関する評価</p> <p>（妥当性）</p> <p>静岡県が策定した「静岡県文化振興基本条例」に基づく「文化振興基本計画」に規定された重点施策と、静岡県舞台芸術センターのミッション、ビジョン及び事業計画との整合性については明確で、これらの達成に向けて事業が適正に組み立てられていると認められる。</p> <p>既に国際プレゼンスを認められた創造集団を中心とした創造発信に加え、専用劇場と専門人材を有する強みを生かした普及啓発活動等を展開し、あらゆる人々が芸術文化を享受する社会基盤の構築を目指しており、助成に値する文化的、社会的意義等が認められる。</p> <p>（有効性）</p> <p>一部に当初予定していた実施回数に満たなかった活動があるものの、目標の達成に向けて、事業が着実に推移していると概ね認められ、アウトカム発現の可能性に期待が持てる。ただし、目標の達成度を測定する方法等については、不明確な部分がある。</p> <p>（効率性）</p> <p>事業はほぼ計画通り実施されており、事業期間は適切であったと認められる。</p> <p>一方、事業費については、概ね適切であったと認められるものの、相当数の活動において、要望時の予算額と報告時の実績額との間で乖離を生じており、今後、より実効性のある予算積算と適切な予算管理が望まれる。</p> <p>（創造性）</p> <p>当該劇場では、専用劇場及び専門人材で構成される創造集団を有するという強みを生かし、世界水準の作品創造と地域への演劇振興の両輪で事業を展開している。</p> <p>レパトリー創造プログラムでは、2 事業・4 作品を創作し、いずれも初演であった。調査を行った 3 作品のいずれにおいても、専用劇場を使いこなした空間演出、俳優の高い身体性、高度なスタッフワークが認められた。また、若い世代の演出家が静岡に 2 か月以上滞在し、恵まれた創造環境の中で作品創造に取り組む貴重な機会を創出するとともに、外部プランナーと劇団スタッフの共同作業の機会を積極的に設けるなど、人材育成としての効果も認められる。</p> <p>国内ネットワーク形成プログラムでは、京都造形芸術大学舞台芸術研究センターとの共同制作として、8 時間に及ぶ大作『繻子の靴』の新演出上演を実現した。約 1 か月の滞在制作を行うことにより、作品内容の更なる充実を図り、複数の劇評で高い評価を獲得した。また、新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）の専属舞踊団 Noism</p>		

別紙（中間評価書）

との継続的な共同制作では、過去作よりも専属俳優の存在感が増し、演劇と舞踊を融合させた取り組みとしてさらなる前進を見せた。これらの活動から、独創性及び新規性が認められる。

教育プログラムでは、小学生や中高生を対象に、様々な期間・レベルでの創作体験の機会を提供した。各事業の講師やアシスタントとして専属俳優が関わることや、参加者のフォローアップとして「観劇会」等と呼びかける工夫により、表現者の次世代育成のみならず、劇場への親しみを生み出すことにも寄与しており、独創性が認められる。

地域活性化プログラムでは、静岡浅間神社での「出張劇場」や、5か国語に対応した「リーディング・カフェ」の実施など、地域ニーズに柔軟に対応したきめ細かい事業展開を実現しており、地域社会の動向を捉えた演劇振興の取組として、先導性が認められる。

『頭れ』が、パリのコリヌ国立劇場から委嘱を受けて制作され、日本の創造集団として初めてフランスの国立劇場の開幕作品に選ばれた他、『妖怪の国の与太郎』は静岡での初演がフランスの日刊紙（リュマニテ紙）で紹介されるなど高い注目度を獲得している。さらに、静岡から世界レベルの演劇を発信して国際的な文化交流を図る活動が評価され、2018年度グッドデザイン賞を受賞した。国内における新聞記事掲載等も多数に上っており、事業実施によって、当該劇場の国内外での評価の向上につながっていると認められる。

（持続性）

組織面では、常勤役員、県からの出向者を含む常勤職員、及び専属契約スタッフにより、事業実施に必要な相当規模の体制が組まれている。

財務面では、県との密接な関係を基礎とした安定的な財務基盤の確保がなされている。

以上のことから、組織活動が持続的に発展し、アウトカムの発現・定着が期待できると認められる。

（総 評）

静岡県舞台芸術センターの事業計画「演劇創造の世界的拠点強化事業」は、妥当性、有効性、効率性、創造性、持続性において適切に進められていると認められる。

今後も静岡県舞台芸術センターが持つ専門人材で構成される創造集団、国内外の劇場や組織とのネットワークといった自らの強み・特色を活かし、引き続き国際発信力のある戦略的な事業展開に期待したい。

中間評価結果 (可否のいずれかに○を附す)

継続

可

否